

\*\*\*\*\*

"知らなきゃ損！？横軸ボール盤の知られざる魅力！！"

\*\*\*\*\*

## 第1回 モータイザーって何？

ひと口にモータイザーと言ってもその定義は様々です。  
英語表記で「mortiser」、  
更に詳しい分類として  
「chisel mortiser」と  
「slot mortiser」 / 「boring mortiser」  
があります。

「chisel mortiser」とは所謂「角のみ盤」を意味します。

「slot mortiser」 / 「boring mortiser」は日本語だと  
「モータイザー」もしくは、  
「横軸ボール盤」 / 「木口加工機」と呼ばれています。

今回皆さんにご紹介したい"モータイザー"は  
この「横軸ボール盤」 / 「木口加工機」とも呼ばれる  
機械達のことです。

木口加工機と呼ばれているように、モータイザーは、  
材料の木口、木端の加工が容易に出来る木工機械と  
言えます。

構造はドリルビット、ルータービット、  
専用のモタイジングビット等をチャックで取り付ける  
ことの出来るモーターと、材料をワンタッチで固定でき  
るクランプを装備した定盤とで構成されています。

専用機の場合は、定盤は固定され、  
モーターが前後、左右、上下に可動となっているものが  
主流です。

手押カンナ盤、自動カンナ盤の兼用機、  
さらに丸鋸盤も含まれる万能機にオプションとして  
モータイザーを取り付けたものも存在します。

この場合、手押カンナ盤の軸の外側にチャックが付いており、  
材料を固定する定盤が可動となっています。

前後、左右、上下に可動となっていて、  
上下に関しては、ギアで位置決めするタイプと  
上下のストッパーで位置決めするものがあります。

後者の場合、加工しながら容易に上下移動出来ますので、  
縦方向の加工もやり易く、使用範囲も広がります。

前後左右に関しては、それぞれストッパーが装備されていて、  
位置決め、もしくは加工リミットの設定が  
自由に出来るようになっています。

多くの機種にダボ穴用の位置決め「インデックス」(ポアースター  
アタッチメント)がオプションで用意されておりピッチでの複数箇所

の穴あけに対応しています。

日本に於いては、何故か普及していない「モーター」ですが、ヨーロッパでは主流の機械であり、どちらかと言うと「角のみ盤」の方が、希少な存在のように思えます。その理由は「ホゾ」：「角のみ盤」、  
「ダボ&ルーズテノン」：「モーター」ということで日本では、普及しなかったのかもしれませんが。

今回はモーターの有用性についてご説明したいと思います。

谷口清人氏  
ソリウッド・プロダクツ（株）代表取締役退任後  
手作り木工家具の木工房クラフソンを主宰